



## 「私の読書タイム」

図書館長 杉本幸雄

通勤に電車で片道一時間半ほどかかる。往復にすれば三時間、ほぼ毎日。この時間をただ移動の時間にするだけではあまりにももったいない話だ。

それではどうしてきたかという、本を読んでいる。往復三時間全ての時間本を読んでいるわけではないが、少なくとも二時間あまり私の眼は本に向けられている。鞆の中にはいつも二冊の本が入っている。ドキュメンタリー映画を作っているせいか、昔からノンフィクションの本を読むことが多い。

一冊はノンフィクション、そしてもう一冊はノンフィクションを読み疲れた時のために小説や軽めのエッセイ本などを持ち歩いている。本があるおかげで、長い通勤時間もさほど苦痛ではない。

車両の中を見渡すと、座っている人、吊革につかまって立っている人、そのほとんどの人がスマートフォンを見ている、ネットニュースでその日のヘッドラインに眼を走らせている人もいるだろう、そういう私もメディアの世界に生きているので、短い時間でその日に起きていることをざっと確認する。スマートフォンの画面の上を忙しく指が動いている、この人はおそらくゲームでもしているのだろう。LINEのやりとりで夢中になっている人。

スマートフォン、便利な道具であることは間違いない。情報を集めるのにこれほど便利な道具はない。しかし、それは情報、本とは違う。

本は知恵と知識。スマートフォンか本か、どちらが良いかという話ではなく、どちらもありだと思う。情報を得るためのスマートフォン、知恵と知識を得るための本。どちらもありだと思う、大切なのは使うバランスだ。

例えば、ドキュメンタリーの世界には取材というものが付いて回る。まず一時情報として集めるのは、ネットからの情報である。でもそこで完結するわけではない、その一時情報をもとに人に会ったり、その土地や風景を自分の眼に焼き付けることが必要である。

自分の見たこと、聞いたことだけが信じられる事実だからだ。

ネットからの情報を鵜呑みにするのではなく、それを頼りにその土地に赴き、匂いを感じ、人に逢い、話を聞く。バーチャルだけではなく、リアルに触れることで、自分の中に納得できるものが生まれる。

人に伝えるのが、ドキュメンタリーの仕事。自分で納得できないものが人に伝わるだろうか、その答えは言うまでもない。

20代、テレビ報道部でカメラを担いで日々取材に飛び回っていた頃の話。ある取材をしていた、調べてみると行ってもどうやら収穫はなさそうだった。

私は先輩にこう言った。

「取材に行っても多分駄目だと思います、無駄足になりそうなので止めます。」

先輩は私にこう言った。

「杉本、そうじゃない。駄目かどうかは行ってみないと分からない。駄目なのを確認するのも立派な取材だ。それで自分が納得するだろう。やっぱり駄目だった、それでいいんだ、行ってこい」

便利なものが世の中にはある、でも便利なものが人にとって大切なものとは限らない。一見無駄に思えることが、大切なことにつながることは多い。

何を見るのか、何を感じるのか、今その時間をみんなは大切にすべきだと思う。

本を読むことは、大切な何かを見つけるきっかけになる。たまにはスマートフォンから眼を離して、その眼を一時だけでも本に向けてはどうだろうか。

きっと何かが見つかる。



## 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に取り組んでいます

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、2020年4月よりさまざまな対策を実施しています。感染終息が見通せない状況の為、2021年度も当面の間継続する予定です。ご理解とご協力をお願いします。

### ソーシャルディスタンスを確保しました

閲覧席に仕切り板を施し、椅子を一つ置きにして、ソーシャルディスタンスを保てるようにしました。



### データベースのリモートアクセスが可能になりました

図書館で契約している電子ブック・データベースのうち、下記について2020年5月より自宅などの学外からでも接続できるようにしました。(利用対象者は本学の学生及び教職員で、利用には各データベースごとにユーザーIDとパスワードが必要です。)

詳しい接続方法及び利用可能期間等は、大学のポータルサイト及び図書館ホームページでご確認ください。

- ・電子ブック(Maruzen eBook Library)
- ・新聞データベース(日経テレコン21)
- ・日本建築学会 論文等検索システム
- ・J-DreamⅢ(科学技術文献情報データベース)

### さまざまなイベントが中止に…

図書館では、例年下記のようなイベントを開催していますが、2020年度は安全を第一に考え、やむなく中止しました。今後の開催は未定ですが、開催が決定次第、ホームページや掲示にてお知らせします。

#### 選書ツアー

参加者が一緒に書店へ行き、図書館にあったらいいと思う本を自分で選ぶイベントです。選んだ本は、自作のPOPと一緒に展示します。

#### ビブリオバトル

自分が読んで面白いと思った本をプレゼンし、参加者が一番読みたくなった本を投票して、チャンプ本を選ぶイベントです。

#### 学生と図書館長との懇親会

学生が図書館長と図書館について自由におしゃべりする会です。この会で出される皆さんの意見や要望が、図書館の改善につながっています。

### 図書の郵送貸出を始めました

学生を対象に、図書の郵送貸出サービスを始めました。希望される方は、予めOPAC(所蔵資料検索システム)にて所蔵情報を確認し、図書館の下記メールアドレス宛に、タイトルを「図書貸出希望」として、次の必要事項を記入して送信してください。

申込宛先 [library@daido-it.ac.jp](mailto:library@daido-it.ac.jp)

- ・学籍番号
- ・氏名
- ・郵送希望先の郵便番号と住所  
(大学に登録してある住所に限ります。)
- ・電話番号
- ・貸出を希望する図書の書名、著者名、資料ID

### 施設の利用を制限しています

密集回避のため、下記施設は利用を休止しています。

- ・1階 AV ラウンジ
- ・2階 グループ AV 室
- ・2階 グループ閲覧室

また、2階学習閲覧室は、グループでの利用を制限しています。テーブルや椅子は動かさず、ひとりでお使いください。



このほか、接触回避のため、出入口ドアをできる限り開放し、各所に消毒用アルコールを設置して除菌に努めています。

利用者には、館内で使用した資料を書架へ戻さず返却台に置いてもらい、スタッフが除菌してから配架しています。

また、学外の方(一般社会人・他大学学生・高校生)の利用を休止するなど、学生の皆さんが安心して図書館を利用できるように取り組んでいます。

## 学生の声をカタチにしました

### 2階図書閲覧室に個室感をプラス

2018年度学生満足度調査プロジェクトの調査で、「大学内のお気に入りの場所」の第1位に図書館が選ばれ、82%の高評価をいただきました。また、今後の改善要望項目として、「個室感」を求める意見が多い(19%)ことも判明しました。そこで、図書館では大学の後援会の援助をいただいて、個室感を高めるため、2階図書閲覧室東側の6人掛け閲覧席テーブルに間仕切りを設置しました。従来よりも更に落ち着いて学習できるスペースになりました。



### 国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの提供スタート

2019年度「大学院生による大学院評価」で、大学院学生より国立国会図書館デジタル化資料を閲覧できるようにしてほしいとの要望がありました。これを受けて、国立国会図書館デジタル化資料の図書館向け送信サービスの利用に必要な諸条件(関連規程や利用環境)を整えた上で、国立国会図書館に利用申請をして承認を得られ、2020年9月より上記サービスを開始しました。

これによって、国立国会図書館デジタルコレクションに収録された資料のうち、公開範囲が「国立国会図書館／図書館送信限定」の資料を、本学図書館の専用端末機で利用できるようになりました。

利用対象者は、本学学生、教職員、非常勤講師、退職者、卒業生です。利用を希望される方は、1階サービスカウンターまでお越しください。

なお、サービスの詳細については、国立国会図書館のホームページにてご確認ください。

URL [https://www.ndl.go.jp/jp/use/digital\\_transmission/index.html](https://www.ndl.go.jp/jp/use/digital_transmission/index.html)

## 漏水事故報告

2020年6月25日(水)午前8時頃、図書館(M棟)の全フロアで、大規模な漏水が発生しました。

原因は、屋上の機械室内に設置している「空調用膨張水槽」の排水配管の破裂(腐食)によるもので、大量の水が階下へ溢れ出し、下記のとおり1階にまで被害が及びました。

#### 被害範囲

- 1階 図書館長室
- 2階 図書閲覧室、グループAV室、グループ閲覧室1・2
- 3階 図書閲覧室、研究者閲覧室
- 4階 大会議室



天井落下(3階図書閲覧室)  
(2020/06/25撮影)



漏水とそれに伴う天井の落下により、3階図書閲覧室と2階図書閲覧室の一部の書架が水浸しになりました。急きよ、学内から約60名の方々(各部署事務職員、技術職員、教員、卒研生、バレーボール部員など)が応援に駆けつけてくださり、濡れた図書の運び出しはもちろんのこと、被害拡大を防止するため、大量の図書の移動にご協力いただきました。この場をお借りして深くお礼を申し上げます。

濡れてしまった図書は大部分を廃棄せざるを得ませんでした。天井や床の修復工事、図書及び施設内の乾燥・除菌処理等を経て、何とか後期授業開講までに原状回復することができました。



# 図書館をもっと活用しよう

## 文献検索オリエンテーションを実施しました

本学教員からの要請を受けて、文献検索オリエンテーションを開催しました。今後も要請があれば開催していく予定です。説明後には、実際に学生自身に検索をしてもらい、資料収集のコツをアドバイスしました。

日 時： 2020年9月30日(水)3時限

場 所： 2階グループAV室

参加者： 総合情報学科 伊藤僚准教授のゼミ生

内 容： ・OPACを使った図書の検索

・CiNii（サイニイ：国立情報学研究所の学術情報DB）を使った論文の探し方

・ILLを利用した文献複写・図書借用の申し込み方法

・質疑応答、検索体験



## 購入希望図書

利用したいと思った本が本学図書館に所蔵されていない場合、購入をリクエストすることができます。申込方法は下の二通りあります。

### 申込方法

・マイライブラリから申し込む

①図書館ホームページの「マイライブラリ」にログインします。

（マイライブラリの使い方は、ログイン下のヘルプもしくは図書館ミニガイドをご覧ください。）

②「各種申し込み」の「図書の購入希望」をクリック、必要事項を入力し、申し込んでください。

・用紙で申し込む

①図書館1階エントランスホールの記帳台に「資料購入希望申込書」があります。

②申込書に必要事項を記入し、1階サービスカウンターへお持ちください。

※予め希望する図書が図書館に所蔵されていないことをOPACで確認してください。

※選定基準等によって購入できない場合もあります。

※購入に関する連絡は、基本的に申込時に記入していただくメールにて行います。

